

# ～ 記・紀に語られる福井県とのゆかり～

## 1 継体天皇

古事記では「<sup>おほどのみこと</sup>袁本杵命」、日本書紀では「<sup>おほどのおおきみ</sup>男大迹王」などと記載。

日本書紀によると、26代継体天皇は、近江国<sup>ひこう</sup>の彦主人王と越<sup>しゅう</sup>の国の振媛<sup>ふりひめ</sup>の間に生まれました。幼くして父を亡くしたことから、母・振媛とともにその故郷・高向(現在の福井県坂井市)に戻り、即位までの50年余りを越<sup>しゅう</sup>の国で過ごしました。越<sup>しゅう</sup>の国における継体天皇の業績は、治水、笏谷石や産業の奨励など多くの伝説となって県内各地に残っています。

日本書紀では、507年、58歳にして即位。82歳で崩御するまで、治世に努めました。(古事記では43歳で崩御とされています。)

## 2 氣比神宮

古事記では「<sup>いざさわけのおおかみ</sup>伊奢沙和氣大神」、「<sup>けび</sup>氣比大神」、「<sup>みけつ</sup>御食津大神」、日本書紀では「<sup>いざさわけのかみ</sup>去来紗別神」、「<sup>けび</sup>筭飯大神」と記載。

日本書紀によると、193年1月、14代仲哀天皇と神功皇后は結婚後、角鹿(敦賀)に行幸し、行宮<sup>かりのみや</sup>を建てて滞在しました。これを筭飯宮<sup>けびのみや</sup>といた、とされます。

また、古事記によると、15代応神天皇が太子のころ、角鹿にて禊ぎを行っている時、氣比大神が現れ、名替えを申し出たとされ、日本書紀にも同様の記載があります(212年2月)。

氣比神宮は越前国一の宮ですが、記紀に揃って記述があることから、その歴史の重厚さを窺い知ることができます。

## 3 越前がに、塩、そして、若狭ぐじ?

### 角鹿の蟹と塩

『この蟹や 何処の蟹 百伝ふ 角鹿の蟹 横去らふ...』。古事記に登場するこの歌は、15代応神天皇が美しい姫を見初めた喜びを表した歌です。角鹿、つまり敦賀の蟹と言えば、現在では「越前がに」。これが「越前がに」のルーツかもしれませぬ。



越前がに

また、日本書紀(25代武烈天皇記)には、天皇の食用となる塩が「角鹿の塩」だけになったというエピソードも語られます。事実、若狭湾一帯の製塩は当時、日本有数であったと考えられています。

### 若狭ぐじの初出?

日本書紀では神功皇后が「淳田門」という場所にて船上で食事をした際、海にお酒を注ぐと、鯛が酔って浮かび上がり、大漁になったというエピソードが出てきます。この「淳田門」の場所は若狭湾の海上が有力です。若狭湾で酒に酔った鯛、つまり赤い鯛と言えば「若狭ぐじ(アカアマダイ)」。現在では京料理にも用いられるブランド食材です。



若狭ぐじ

## 福井県への交通のご案内

### 東京から

- JR/東海道新幹線・北陸線特急で.....約3時間30分
- 飛行機/羽田-小松空港(金沢・福井)-福井(バス).....約2時間
- 自動車/東名・名神・北陸自動車道で.....約6時間30分
- 高速バス/東京駅八重洲南口-福井.....約8時間20分

### 大阪から

- JR/湖西線特急で.....約1時間50分
- JR/新快速で(敦賀まで).....約2時間
- 自動車/名神・北陸自動車道で.....約3時間
- 高速バス/阪急三番街-福井.....約3時間30分
- 湊町バスターミナル-小浜.....約3時間30分

### 名古屋から

- JR/北陸線特急で.....約2時間
- 自動車/名神・北陸自動車道で.....約2時間
- 東海北陸自動車道白鳥IC経由で.....約3時間
- 高速バス/名鉄バスセンター
- JR名古屋駅-福井.....約2時間50分
- JR名古屋駅-敦賀.....約2時間



※安宅スマートIC(ETC専用出入口)は、福井・小松空港間の移動にご利用になれます。

# 記・紀ゆかりの地 福井県へようこそ



氣比神宮(敦賀市)

古事記、日本書紀って? 古事記は2012年、日本書紀は2020年にそれぞれ完成1300年を迎えます。

	古事記	日本書紀
完 成	712年(和銅5年、43代元明天皇期)	720年(養老4年、44代元正天皇期)
編 者	太安万侶	舎人親王ら
編 成	全3巻	全30巻と系図1巻(現存せず)
記述対象時期	天地開闢~33代推古天皇	天地開闢~41代持統天皇
特 徴	神代 <sup>うかつまき</sup> に上巻すべてが割かれ、かなりのウェイトが置かれるとともに、多くの歌謡を織り込みながら、神々や人物が情緒豊かに描写されている。	神代もさることながら、歴代天皇の事績や出来事の記載にウェイトが置かれている。別の伝承も一々引用するなど正史としてより正確さを期す意図が感じられる。

古事記は現代に伝わる日本最古の歴史書、日本書紀は同じく日本最古の正史です。二つを合わせ、「記紀」と呼ばれています。記述対象時期や記述法などに違いはありますが、記・紀ともに、国生みから、有名な天の岩屋戸、稲羽の素戔、ヤマトタケルの熊蘇退治など、私たちも知っている物語が豊かな表現で描かれています。

## 記紀のころの福井県って?

古事記の下巻にあたる古墳時代、嶺北地方では九頭竜川中流域を中心に、「越」の国の大首長墳が7基確認されています。また、嶺南地方でも同様の時期、全長100mと若狭最大規模の上ノ塚古墳など大型の前方後円墳が築造されていました。強大な権力者が一帯を支配していたと考えられています。

大宝律令(701年)以前においては、現在の福井県地域は「越」の一部であり、若狭、高志、三国、角鹿の4国造(地方の実質的な支配者)が分立していたと見られます。律令制下では、越国は越前・越中・越後の3国に分割され、また若狭国はすでに成立していたようです。越前とは「こしのみちくち」であり、畿内から見た越国の表玄関であることを意味しています。能登と加賀はその後、越前から分割されました。



手繰ヶ城山古墳(永平寺町)

# 記・紀ゆかりの地 福井県へようこそ

越の国から即位した継体天皇にゆかりの地をはじめ、  
記紀に登場する神々や人物を祀る古社、史跡の数々…。  
われわれ日本人が連綿と  
伝え続けてきた歴史に思いを馳せ、  
千年を越える古代のロマンに  
浸ってみてはいかがでしょうか。

**坂井市**  
丸岡の地名は、継体天皇の皇子である梶子(まろこ)皇子に由来するともいわれている。築城は1576年。日本百名城。桜名所百選の桜は、例年4月上旬が見頃。  
坂井市丸岡町霞町1-59 TEL:0776-66-0303(霞ヶ城公園事務所)

**福井市**  
継体天皇が主祭神で、子宝に恵まれた天皇にちなみ、安産の御利益があるといわれる。春はシダレザクラが美しい。近くには継体天皇像(笏谷石製)も建っている。足羽山と麓を流れる足羽川が桜名所百選。  
福井市足羽上町108 TEL:0776-36-0287(社務所)

**永平寺町**  
越国の王の墳墓とされる前方後円墳。ともに国史跡。手繰ヶ城山(全長129m)は初代の王墓。二本松山(同89m)は7代目の王墓と見られ、冠など多くの副葬品が出土している。  
永平寺町松岡志比塚、松岡吉野塚ほか  
TEL:0776-61-1111(永平寺町教育委員会)

**大野市**  
記紀に登場する大国主(大己貴)命を祀る。大国主命が与えたという眼病に効く御霊泉が湧く。小京都・大野は名水のまち。  
大野市篠庭42-5 TEL:0779-65-1455

**県北部を流れる**  
継体天皇が越の王時代、河口を広げ、治水に努めたという河川。黒龍明神、九頭竜信仰、ヤマタノオロチなど様々な伝承・伝説との関わりが窺われる。夏は鮎釣りの太公望たちが賑わう。

**鯖江市**  
越前漆器は、継体天皇の冠を漆塗職人が直したことに始まると伝えられる。うるしの里会館には当時をイメージした漆塗りの冠も展示。会館からほど近くには漆器神社もある。  
鯖江市西袋町40-1-2 TEL:0778-65-2727(うるしの里会館)

3~5世紀の約50基の古墳群。国史跡。記紀に登場する大毘古(大彦)命が祈りを捧げた場所と伝わる。出土品は「まなべの館」で展示。麓の古社・舟津神社の祭神も大毘古命。  
鯖江市東鯖江町、上鯖江町 TEL:0778-51-5999(鯖江市まなべの館)



2【足羽神社と継体天皇像】



8【劔神社】



11【味真野苑】



13【彌美神社(王の舞)】



15【岡津製塩遺跡】



14【脇袋古墳群】



1【丸岡城】

3【手繰ヶ城山古墳、二本松山古墳】

4【篠座神社の御霊泉】

6【うるしの里】

5【九頭竜川】

10【岡太・大瀧神社】

**敦賀市**  
記紀に登場する忍熊王らを祀る。御神体は忍熊王が賜った神剣で、この力で越国を平定したと伝わる。織田信長の先祖はこの神社の神官であったとされ、織田家の氏神でもある。越前国二の宮。  
越前町織田113-1 TEL:0778-36-0404

**越前市**  
継体天皇が暮らしていた場所とされ、謡曲「花筐」の舞台としても名高い。桜、紅葉など四季を通じて美しく、2人の皇子の産湯と伝わる皇子ヶ池、天皇お手植えとされる薄墨桜など、見どころも多い。  
越前市栗田部17-20 TEL:0778-42-0361(花筐公民館)

日本で唯一、紙祖神を祀る。継体天皇が皇子であったころ、川上御前が現れ、里人に紙漉きの技を教えたという。里宮は荘厳な社殿で国重文。近くには手軽に紙漉き体験などもできる越前和紙の里がある。  
越前市大滝町23-10 TEL:0778-42-0016(和紙の里)

継体天皇と照日の前が並ぶ「花がたみ像」がある。四季折々の花々が楽しめ、近傍には継体天皇を祀る味真野神社もある。隣接する万葉館では味真野に伝わる万葉ロマンに浸ることができる。  
越前市余川町55-1 TEL:0778-27-7800

二千有余年前、記紀に登場する氣比大神が降臨したと伝わる。仲哀天皇と神功皇后らを祀り。越前国一の宮。朱塗の大鳥居は日本三大木造大鳥居の一つ。境内にはツヌガアラントを祀る角鹿神社もある。  
敦賀市曙町11-68 TEL:0770-22-0794

古事記に耳別氏の祖先と記載される室毘古王を祀る。春に奉納される王の舞は県指定無形文化財。近くにある獅子塚古墳は耳別氏の墓とされる。  
美浜町宮代10-25-1 TEL:0770-32-0254

記紀にも記載がある若狭国造・膳臣との関わりが窺われる古墳群。特にノ塚古墳は全長約100mで若狭地方最大、西塚古墳は膳臣斑鳩の墓と考えられている。  
若狭町脇袋 TEL:0770-45-0113(若狭三方五湖観光協会)

製塩が盛んであった若狭湾岸を代表する遺跡。7~8世紀の炉跡9面を確認。国史跡。塩は税として都へ納められていたと考えられている。  
小浜市岡津44 TEL:0770-53-1111(小浜市教育委員会)

凡例

	高速自動車国道
	一般国道自動車専用道路
	国道
	主要地方道路
	JR
	私鉄